

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【公開番号】特開2008-126923(P2008-126923A)
 【公開日】平成20年6月5日 (2008.6.5)
 【年通号数】公開・登録公報2008-022
 【出願番号】特願2006-316736(P2006-316736)
 【国際特許分類】

B 6 0 S 3/06 (2006.01)

A 4 6 B 13/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 S 3/06

A 4 6 B 13/02

【手続補正書】
 【提出日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

洗車機用洗浄ブラシのブラシ片において、該ブラシ片は、スリットにより分片が形成されるものであって、少なくとも 1 箇所に戻り状の軌跡を有する前記スリットが形成されてあることにより、前記分片に突起が形成されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシのブラシ片。

【請求項 2】

ブラシ片の少なくとも一辺の外側に凹凸部が形成されてあることを特徴とする請求項 1 に記載の洗車機用洗浄ブラシのブラシ片。

【請求項 3】

洗車機用洗浄ブラシにおいて、該洗浄ブラシは、請求項 1 又は 2 に記載のブラシ片を有するものであることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項 4】

請求項 3 項に記載された洗車機用洗浄ブラシを搭載した洗車機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

請求項 1 の発明は、洗車機用洗浄ブラシのブラシ片において、該ブラシ片は、スリットにより分片が形成されるものであって、少なくとも 1 箇所に戻り状の軌跡を有する前記スリットが形成されてあることにより、前記分片に突起が形成されてあることに特徴を有する。したがって、ブラシ片の二股状に分かれた分片の両方に突起が形成されることとなり、一方の突起が他方の突起に乗り上げることによって、二股状に開いた状態を維持することができる。また、スリットの形状を変更するだけで済むので、新たに作業工程を増やす必要がなくコスト高とならない。尚、戻り状の軌跡は、少なくともブラシ片の長手方向、幅方向、厚み方向のいずれか一つ以上に形成されてある形態を採用できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

1 スリット

1 a、1 b、1 c、1 d、1 e、1 f、1 g、1 h、1 i、1 j、1 k、1 l 突起

2 a、2 b 分片

3 穴

10 ブラシ片

67 洗車機